

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

**\*旧図書館の雑BOX-⑬-2 (西左7-2) の乾板について (昭和20年代の航空写真他)**

天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台に残された写真乾板の整理を行っている。旧図書館に保管されている天体写真乾板についてはS君が整理を行っており、この整理の中で天体写真以外の雑乾板について筆者が引き受けデジタルデータとして取り込むことを進めている。今回は写真乾板の箱「雑BOX-⑬-2 西左7-2」と書かれた乾板箱に入っていた写真乾板3枚の報告である。写真1が入っていた箱の写真である。

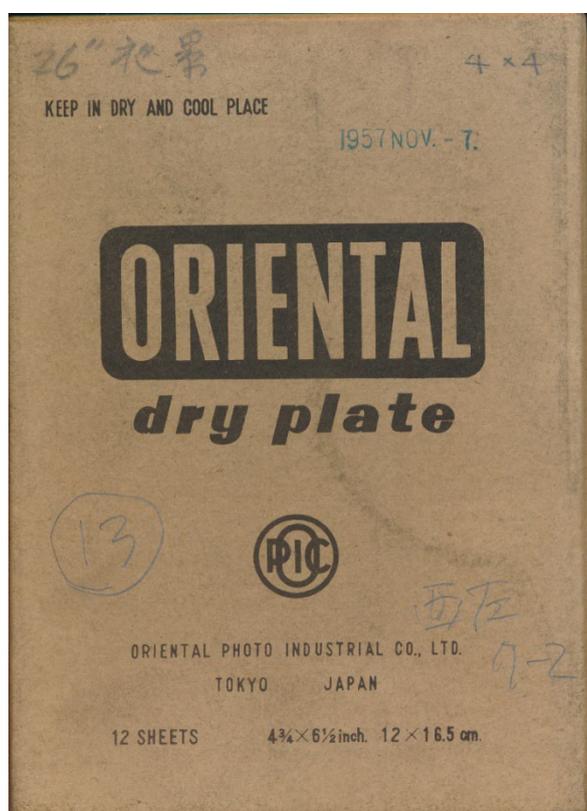


写真1 箱には26吋夜景と書かれている  
写真2が3枚の乾板のサムネイルである。



写真2 雑BOX-⑬-2に入っていた乾板のサムネイル

この箱の面に書かれているように、この箱の中には26吋（65cm）赤道儀望遠鏡のスリットが開いた状態のドームの写真が2枚と箱の表には書かれていなかったが、東京天文台の昭和20年代の航空写真が入っていた。この昭和20年代の航空写真は状態がよい。この航空写真には東京天文台時代の43軒の官舎すべてが写っており、また基線尺試験棟の細長い建物が写っている。そして、30cm望遠鏡のドームが写っている。このことから、この航空写真が撮影されたのは昭和26年頃と思われる。

この航空写真は貴重な記録と思われるので紹介しておきたい（写真3）。

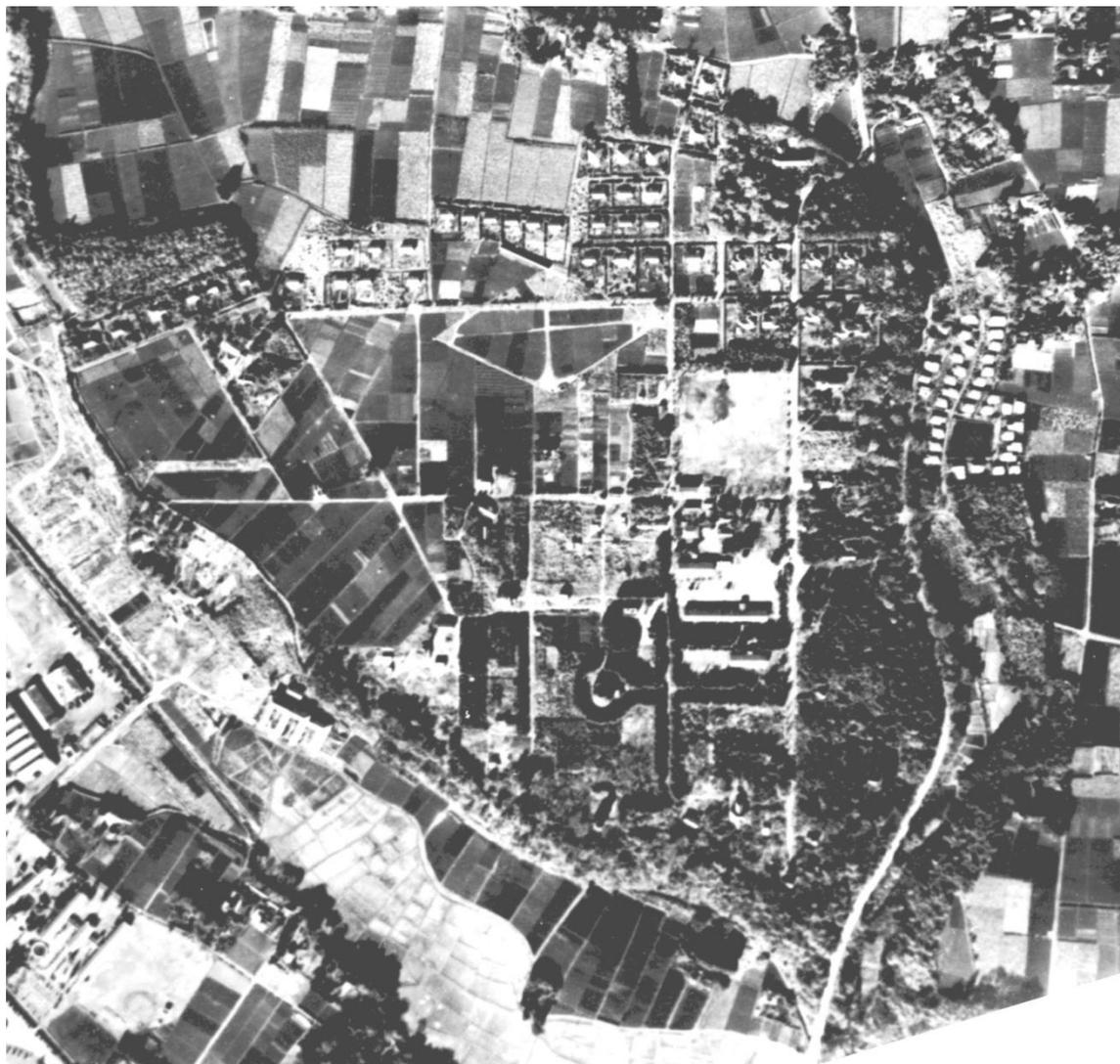


写真3 昭和20年半ばの東京天文台航空写真

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、[arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp](mailto:arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp)